

**未来を担う子どもたちに夢と希望を！**

令和8年度採用  
**山形県公立学校教員選考試験説明会**  
**春のオンライン説明会**

山形県教育局教職員課

山形県教員採用試験HP  山形県教員採用X 

**本日の内容**

- 1 山形県の教育
- 2 職場環境
- 3 待遇
- 4 試験の変更点
- 5 試験の概要
- 6 電子申請の手順
- 7 よくある質問

最後に質疑応答の時間があります。  
遠慮なくお聞きください

山形県DC推進監  
きてけろくん 



**1 山形県の教育**

- 目指す教育
- 目指す教師像
- 特色ある教育

**学校、児童・生徒、教員**

校種	学校数	児童・生徒数	教員数
小学校	222	45,607	3,793
中学校	95	25,252	2,161
義務教育学校	3	1,157	115
特別支援学校	19	1,211	801
高等学校	45	16,082	1,777
計	384	89,309	8,647

令和6年5月1日現在(国立・公立)

学校には、国立を含む。教員には、養護教諭、栄養教諭、講師等を含む。



1 山形県の教育

山形県の目指す教育

第7次山形県教育振興計画

【目標】  
「ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり」

- 【県民の皆様へ(メッセージ)】
- チャレンジ1 『体験』 ワクワク無限大
  - チャレンジ2 『探究』 「なんで？」を大切に
  - チャレンジ3 『尊重』 みんなが主役で応援団
  - チャレンジ4 『協働』 みんな笑顔で

採用時に求める教員の姿

1. 児童生徒への深い教育愛と教育に対する強い使命感、責任感のある方
2. 明るく心身ともに健康で、高い倫理観と規範意識を備え、法令を遵守する方
3. 豊かな教養とより高い専門性を身につけるために、常に学び、自らを向上させる姿勢をもち続ける方
4. 山形県の教員として、郷土を愛する心をもち、人とのつながりを大切にして、地域社会においてよりよい学校や地域社会を築こうとする方

特色ある教育

○教育やまがた「さんさん」プラン

少人数学級のメリットを生かしたきめ細やかな指導の充実により、個の能力を最大限に伸ばし、「わかる授業」「いじめや不登校のない楽しい学校」を目指す

- ・小学校 18人～33人の少人数学級編制を実施
- ・中学校 21人～33人の少人数学級編制を実施
- ・小中の特別支援学級 6人以下の少人数学級編制を実施

資質・能力の育成

4. 本事業の具体について

(1) 大卒新採教員等が教科担任(兼)学級担任となる場合

大卒新採教員等が教科担任(兼)学級担任となる学校には、教員が1人多く配置されます。

【教科担任(兼)学級担任の学校生活(例)】

先導教員の学級経営を見ることで、学級担任として活かしたいことを学ぶことができます。

実践を振り返りながら同じ授業を繰り返すことができ、授業力の向上につながります。

ワークライフバランスが整うので、笑顔で子どもたちと向き合えるようになります。

(2) 大卒新採教員等が学級担任となる場合

大卒新採教員等が学級担任となる学校には、新採教員支援員が1人配置されます。

【新採教員支援員が配置された場合の学校生活(例)】

新採研究を行う時間があるので、実践研究などができるので、休みの日に子どもたちと関わることもできます。実業経験が深まります。

定着期に卒業論文や先生としての論文が書けるので、笑顔で子どもたちと向き合えるようになります。

時間と心ゆだねることができるので、笑顔で子どもたちと向き合えるようになります。

「新採教員育成・支援事業リーフレット」より

特色ある取り組み

1 山形県の教育

## 2 職場環境

- 働き方改革
- 新採教員育成・支援



### 学校の働き方改革

山形県公立学校における働き方改革プラン（第Ⅱ期・令和5～7年度）

#### 第Ⅱ期の目標

- ① 半期における時間外在校等時間の月平均が80時間を超える教員数0人を目指す
- ② 年間における時間外在校等時間の月平均が45時間を超える教員数0人を目指す



＜働き方改革の目的＞

- 教職員の心身の健康保持
- ワークライフバランスの実現
- 生き生きと働ける職場環境づくり

↓

教育活動の充実



2 職場環境

### 学校の働き方改革

第Ⅱ期の取組み方針と具体的な取組み内容

取組み方針	具体的な取組み内容	各学校
<b>方針1</b> 意識改革	<b>取組みの柱①: PDCAサイクルの構築</b> ○ 学校の働き方改革取組み状況チェックシートの活用 → 学校における取組み状況の把握と更なる改革に向けた具体的な取組みの実施 ○ 管理職に対する人事評価（業績）における目標設定の義務化 <b>取組みの柱②: 管理職や教職員の更なる意識改革及び保護者等の理解促進</b> ○ 校長会、教頭会、校内研修等での啓発と先進事例の共有 ○ 保護者や地域に対する学校の働き方改革の周知	○ 45時間超の教職員に対する、管理職による業務改善の具体的な指導 ○ 保護者・地域に対する働き方改革についての説明・周知の徹底 ○ 教職員一人一人の時間外在校等時間の可視化
<b>方針2</b> 長時間勤務の要因への対応	<b>取組みの柱③: ICTの有効活用</b> ○ 全県立高等学校へのデジタル拠点サービスの導入 → 効果検証と活用促進 ○ ICTを活用した授業生徒の情報共有の推進 → 統合型校務支援システムの生徒指導等への活用拡大 <b>取組みの柱④: 人材の確保及び外部人材の活用</b> ○ 産育休等の代替教員確保（ベーパーティーチャー説明会の開催、大学院生・大学生の非常勤講師等任用等） ○ 教員業務支援員や学芸員指導員等各種外部人材の配達の充実 ○ スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配達の充実 <b>取組みの柱⑤: 業務の外部委託の推進</b> ○ 学校・教員が担当業務の明確化、適正化の推進（学校徴収金の公会計化、清掃業務の地域センター化活用等） <b>取組みの柱⑥: 教育課程全体の最適化</b> ○ 大学新卒の新採用者の職業準備・教材研究時間の確保（新規支援プラン） ○ 小学校における教科担任制の導入促進（教科担任マイスター制度等） ○ 教務分掌の精選、空割増勤務、日課表の見直し等の推進	○ 学校・教員が担当業務の明確化・適正化の推進 ○ 教材の蓄積・共有化 ○ ICTを活用した児童生徒の情報共有 ○ チームによる児童生徒への個別指導等 ○ 小学校における教科担任制の導入 ○ 余剰時間の削減を含めた教員課外活動の見直し ○ 部活動ガイドラインの遵守 ○ 部活動の仕切り方等の見直し（指導要領見直し、追加参加等） ○ 勤務時間内の部活動終了に向けた検討

取組みの強化・浸透 → 「取組み状況チェックシート」で進捗状況を把握・確認

2 職場環境

### 学校の働き方改革

- 人材の確保及び外部人材の活用
  - ・ 教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)
  - ・ 校務補助員
  - ・ 部活動指導員
  - ・ スクールカウンセラー
  - ・ スクールロイヤー
  - ・ SSW(スクールソーシャルワーカー) など
- ICTの有効活用
  - ・ 校務支援システム
  - ・ デジタル採点
  - ・ 保護者等への連絡 など
- 教員の事務負担軽減
- 勤務時間に対する意識の啓発 など

2 職場環境

部活動ガイドライン

山形県における部活動の在り方に関する方針(抜粋)  
 (運動部:平成30年12月、文化部:令和元年7月策定)

休養日	平日1日以上、土曜日及び日曜日(週休日)1日以上
活動時間	平日2時間程度、週休日等3時間程度
長期休業中の休養日	ある程度長期の休養期間を設ける (連続した休養日の設定)

3 待遇

- 給与等
- 休暇等
- 福利厚生



給与・手当

□初任給

	大学卒	大学院卒
山形県の行政職	229,100円	238,100円
山形県の教育職=教諭 (R6:参考)	<b>263,016円</b> (R6:235,352円)	<b>280,696円</b> (R6:256,568円)

- 教育職は教職調整額を含む。
- 山形県内の大学卒初任給平均は¥220,100(令和5年度賃金構造基本統計調査 厚生労働省より)
- 初任給は職歴、経験年数を加算

□手当

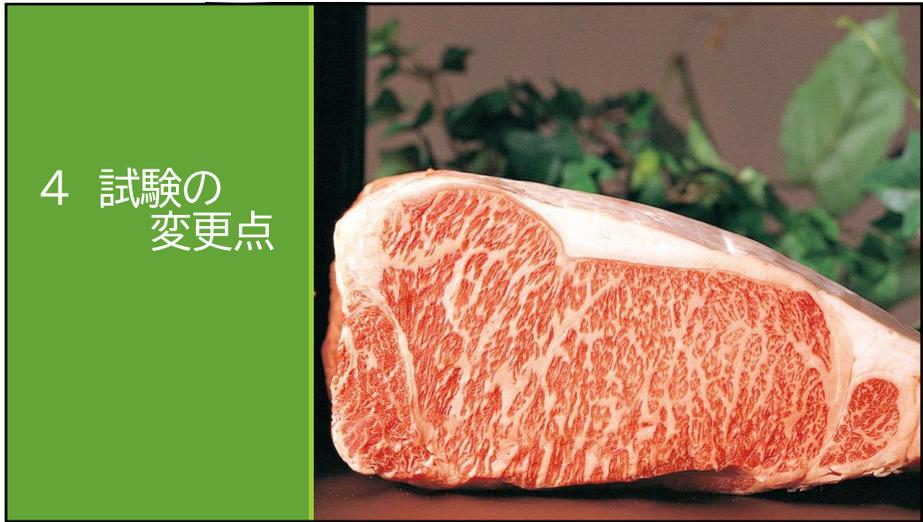
- ・期末勤勉手当 … 4.60ヶ月分(令和6年度実績)を、6月と12月に分けて支給
- ・住居手当 例)一ヶ月の家賃が¥50,000のアパートを借りた場合¥23,500
- ・扶養手当 … 扶養する「子」等がいる場合に支給
- ・通勤手当 … 通勤距離、通勤方法に応じて支給 他にも様々あります

休暇等

- 勤務時間 ・週あたり 38時間45分(1日あたり7時間45分)
- ・休日は、土曜日・日曜日、祝日、年末年始

□休暇・休業(主なもの)

休暇名	日数	備考
年次有給休暇	20日	翌年への繰り越しあり
夏季休暇	6日	7~9月に取得
リフレッシュ休暇	5日	満30、40、50歳
私傷病休暇	90日	生活習慣病休暇への引き継ぎあり
生活習慣病休暇	180日	がん等を含む生活習慣病や精神性疾患
忌引休暇	10日	1~10日の範囲
骨髄移植休暇	必要な期間	
災害休暇	必要な期間	非常災害発生時
婚姻休暇	7日	新婚旅行等で取得する方が多い



4 試験の変更点

変更点

1. 大学3年次特別選考Aの対象を**全校種等、教科・科目へ拡大**

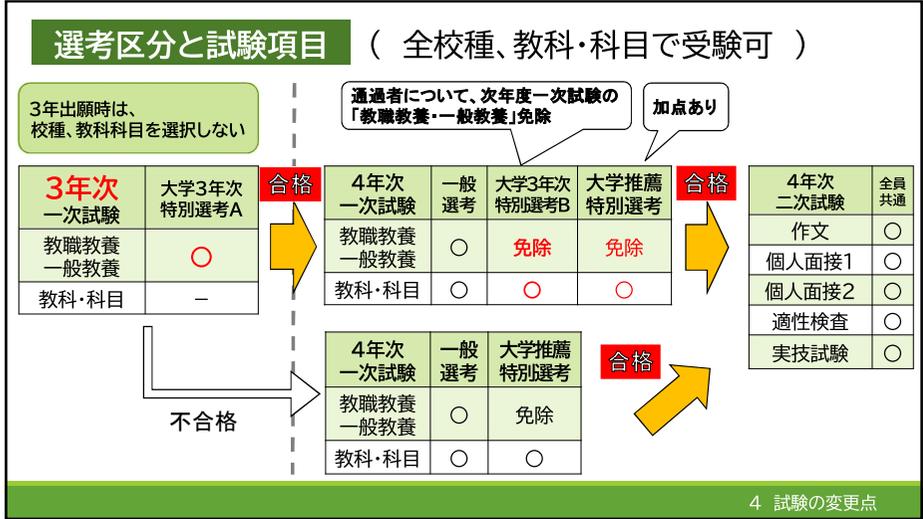
【変更前】

- ・対象校種: 小学校教諭、特別支援学校小学部教諭 を対象とする。
- ・併願及び加点申請を可とする。



【変更後】

- ・対象校種: **全校種等、教科・科目**において出願を可とする。(養教・栄教含む)
- ・大学3年次特別選考A出願時には、**校種、教科・科目**の選択は行わない。
- ・併願及び加点申請は**大学4年次**に出願する際に申請することとする。



変更点

2. 大学推薦特別選考における出願可能教科・科目の**拡大**

【変更前】

- ・大学推薦特別選考実施要項で指定された校種、教科・科目で出願可能 (校種、教科・科目ごと**5名**)



【変更後】

- ・**中学校**における**出願可能教科**を**全教科**に拡大する。
- ・**高等学校**における**出願可能教科・科目**を**拡大**する。

**変更点**

3. **東京会場(一次試験)における対象校種、教科・科目、実施選考区分の拡大**

<p><b>【変更前】</b> 会場: 明治学院大学</p> <p>対象校種 ①小学校 ②特支小学部</p> <p>実施選考区分 ・一般選考 ・大学推薦特別選考</p>	➔	<p><b>【変更後】</b> 会場: 明治学院大学</p> <p>対象校種 ①小学校 ②特支小学部 ③中学校(国語・理科) ④特支中学部(国語・理科) ⑤高等学校(国語・情報・機械・電気・土木・工業化学・商業)</p> <p>実施選考区分 ・一般選考 ・大学推薦特別選考 ・元職教員特別選考Ⅱ ・現職教員特別選考Ⅱ</p>
--	---	--

4 試験の変更点

**変更点**

4. **元職教員特別選考・現職教員特別選考における出願要件の緩和**

**【変更前】**

- ・「志願する校種・教科・科目又は養護教諭・栄養教諭の職」での経験が必要

↓

**【変更後】**

- ・小学校または中学校での勤務経験者(3年以上)は、該当教員免許があれば、小学校または中学校への出願を可とする。
- ・中学校または高等学校での勤務経験者(3年以上)は、中高を問わず同一教科での出願を可とする。

4 試験の変更点

**変更点**

5. **加点制度の拡大**

(1) 司書教諭資格に関すること

**【変更前】**

- ・司書教諭の資格を有する者(取得する見込みは不可)

↓

**【変更後】**

- ・司書教諭の取得見込者も加点対象とする。

(令和8年3月31日までに司書教諭講習修了証書取得見込の者を対象)

4 試験の変更点

**変更点**

5. **加点制度の拡大** (2) 大学推薦に関わる加点

3年出願時は、校種、教科科目を選択しない

3年次 一次試験	大学3年次特別選考A	合格	4年次 一次試験	一般選考	大学3年次特別選考B	大学推薦特別選考
	教職教養 一般教養	○	教職教養 一般教養	○	免除	免除
	教科・科目	-	教科・科目	○	○	○

➔

4年次 一次試験	一般選考	大学推薦特別選考
教職教養 一般教養	○	免除
教科・科目	○	○

不合格

「3特A合格者」  
+  
「大学推薦出願者」  
↓  
加点

4 試験の変更点

**変更点**

**6. スポーツ特別選考の出願要件の緩和**

**【変更後】**

- ・次の(ア)～(イ)のいずれかに該当する者
- (ア)高等学校卒業後、国際大会(オリンピック、世界選手権、アジア大会等)に日本代表で出場した者
- (イ)高等学校卒業後、全国大会(日本選手権大会や国民スポーツ大会、全日本学生選手権大会等の、予選大会を経て行われる大会)において、3位以上の成績を収めた者
- (ウ)上記(ア)または(イ)の者をその大会の出場に際して直接指導した実績を有する者
- (エ)全国高等学校総合体育大会等で3位以上の成績を収めた者をその大会の出場に際して直接指導した実績を有する者

4 試験の変更点

**5 試験の概要**



**選考を行う校種等、教科・科目と採用見込数**

校種等		教科・科目	採用数
小学校教諭 (小学校英語を含む)			約160名
中学校教諭		国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	約90名
特別支援 学校	小学部教諭		約30名
	中学部教諭	中学部教諭の教科は中学校教諭に同じ	
	高等部教諭	理療	
	高等部助教諭	理療	
高等学校	教諭	国語、「世界史・日本史」、数学、物理、化学、生物、保健体育、音楽、英語、家庭、情報、機械、電気、土木、工業化学、商業	約30名
	助教諭	機械、電気、建築、土木、工業化学	
養護教諭			約15名

5 試験の概要

**選考区分**

※ 元職・現職Ⅰ(高校以外)、元職・現職Ⅱ(高校) ※合格者数はR6実施のもの

区分	志願資格	合格者数	
一般選考	特別選考の志願資格の方以外はこちら	183	
特別選考	講師等	本県の講師等(非常勤も含む)を、通算13ヶ月以上	42
	元職教員Ⅰ・Ⅱ	本県又は他県等で正規採用として3年以上継続して勤務	13
	現職教員Ⅰ・Ⅱ	現在、本県以外において正規採用として、3年以上継続 ※3年目の方も可	25
	大学推薦	校種等、教科・科目で、大学より5名(規定による)	51
	3特A	大学3年次等で、令和8年3月31日までに卒業見込みの方	61
	3特B	前年度3特Aで合格した方	
	社会人	教科・科目と関連する実務経験を、5年以上継続 (英語、工業、情報、看護)	0
	前年度二次Bランク	前年度一次合格、二次不合格でBランクの方	26
	障がい者	障がいのある方	0
	スポーツ	国際大会出場、全国3位以上の指導実績 ※高校の保健体育のみ	0

5 試験の概要

試験項目・内容

試験	試験項目	時間	具体的内容
一次試験	教職教養・一般教養	70分	教育法規、教育心理等の教職教養 と 一般教養 ※マークテスト形式
	小論文	70分	指定されたテーマについて、1000字以内で論述
	教科・科目	90分	出願した教科・科目の内容 (実技がある教科・科目では、70分で実施)
	実技試験	-	一部の校種等、教科・科目のみ
二次試験	個人面接1・2	-	面接官数名と受験者との面接 「場面指導等」を含む
	作文	50分	指定されたテーマについて、800字以内で作文
	実技試験	-	小学校と特別支援学校小学部 英語と音楽の選択

校種等、教科・科目、選考区分によって、試験内容は異なります。

選考区分と試験項目

□一次試験

	一般選考	特別選考						
		現職・元職Ⅱ 大学推薦	講師等 社会人	3特A (3年次)	3特B (4年次)	スポーツ	障がい者	現職・元職Ⅰ 前年度二次 Bランク
教職教養 ・一般教養	○	免除	-	○	免除	免除	○	免除
小論文	-	-	○	-	-	○	-	
教科・科目	○	○	○	-	○	免除	○	
実技試験	○	○	○	-	-	免除	○	
面接	-	-	-	-	-	○	-	

選考区分と試験項目

□二次試験

	小学校・特支小学部		その他の校種等
	現職Ⅰ・元職Ⅰ	その他	
作文	○	○	○
個人面接1	○	○	○
個人面接2	○	○	○
適性検査	○	○	○
実技試験	免除	○	-

実技試験のある校種等

※R6実施のもの

	校種等、教科・科目	試験内容	
一次	中学校	音楽	・新曲視唱、新曲視奏、ピアノ演奏、歌唱指揮 ・随意曲選択演奏(歌唱または器楽)
		美術	・水彩画
	中学校 高等学校	保健体育	・次の領域から2領域選択 陸上競技、器械運動、球技(バレーボール、バスケットボール、サッカーのうち1種目)、武道(柔道、剣道のうち1種目)、ダンス
	中学校	技術	・木製品の製作、電気回路の製作
	中学校 高等学校	家庭	・調理、被服製作
		英語	・英語による面接
	養護教諭	・場面对応	
二次	小学校 特支小学部	音楽(伴奏譜によるピアノ演奏) か 英語(英語による簡単な自己紹介と日常会話) のいずれかを選択	

### 小学校の実技(英語・二次試験)

- 英語による自己紹介
- 日常会話

(例) 英語で答えられますか？

- What sport do you like to play?
- What do you like to talk about with your friends?
- Where do you often go on weekends?

(県HPに掲載の出題例より抜粋)

5 試験の概要

### 作文(二次試験)のテーマ

※R6実施のもの

- 心身ともに健康な児童生徒を育てるために
- 児童生徒が安心してすごせる学校づくりのために
- 児童生徒が他者と豊かに学び合うために
- 児童生徒が自らの可能性に気付くために
- 児童生徒が学ぶ楽しさを知るために
- 児童生徒の自己肯定感を高めるために

過去3年分の問題等は、山形県庁1階「行政情報センター」で閲覧・複写できます  
電子申請による請求もできます  
詳しくは→<https://www.pref.yamagata.jp/documents/31285/kakomon-get.pdf>

5 試験の概要

### 一次試験の配点

		教職教養・一般教養	教科・科目	実技試験
小学校、特支小学部		100点	150点	－
中学校 特支中学部	実技あり	100点	100点	50点
	実技なし	100点	150点	－
高等学校 特支高等部	実技あり	100点	200点	100点
	実技なし	100点	300点	－
	スポーツ特選	小論文120点、面接280点		
養護教諭		100点	100点	50点

加点制度を利用した方は、高校は40点、それ以外は30点を上限に加点されます

5 試験の概要

### 二次試験の配点

	個人面接1	個人面接2	作文	実技試験
小学校、特支小学部	210点	140点	50点	50点
中学校、特支中学部 高等学校 養護教諭 栄養教諭	210点	140点	50点	－

### あなたの配点

一次試験(            )点 : 二次試験(            )点

5 試験の概要

### 加点制度

加点要件	小	中	特小	特中	特高	高
① 「数学」、「理科」、「音楽」、「保健体育」及び「英語」の免許状	10					
② 受験教科以外の中学校の免許状		10				
③ 受験教科以外に「情報」の免許状			10	10	10	30
④ 受験教科以外に「福祉」の免許状			10	10	10	10
⑤ 「世・日」の受験者で、「公民」の免許状						5
⑥ 受験教科以外で「数学」または「理科」の免許状			10	10	10	
⑦ 特支5領域すべての免許状			10	10	10	
「視覚」、「聴覚」から1+「知的」「肢体」「病弱」から2			5	5	5	
⑧ 特支の免許状	10	10				10
⑨ 英検2級、TOEFL iBT 65点、TOEIC 600点	10		10			
⑩ 「英語」受験者で英検準1級、TOEFL iBT 80点、TOEIC 730点		10		10		10
⑪ 司書教諭の資格を持っている又は取得見込	5	5	5	5	5	5
⑫ 大学推薦特別選考志願者で、昨年度「3特A」に合格	10		10			

R6の加点申請者 = 163名

5 試験の概要

### 併願制度

次の組合せ①～③において、一方の校種を第一志望、他方の校種を第二志望として出願できます。

- 組合せ① 「小学校」と「特別支援学校小学部」 ← 小学校と特別支援学校の両方の免許状が必要
- 組合せ② 「中学校」と「特別支援学校中学部」 ← 中学校と特別支援学校の両方の免許状が必要
- 組合せ③ 「中学校」と「高等学校」(国・家・英のみ) ← 中学校と高等学校の両方の免許状が必要

・ポイント①  
「小」と「特支小」の教科・科目の問題は同じ  
「中」と「特支中」の教科・科目の問題は同じ  
「中」と「高」の教科・科目の問題は同じ ※国・家・英のみ

・ポイント②  
第一志望を特支小中、第二志望を小中で併願する方は、**第二志望で必ず加点申請**できます

5 試験の概要

### スケジュール

～合格へのロードマップ～

4月中旬～5月中旬 7月中旬 9月上旬 9月下旬

出願 一次試験 二次試験 合格・採用

4/18 ~5/13 6/6 ~7/12 8/8 9/2~9/4 9/30

実施要項等のダウンロード  
電子申請 各種書類提出  
一次試験の対策  
受験票のダウンロード  
一次試験の受験  
二次試験の対策  
一次試験の合格発表  
二次試験の受験  
合格発表  
採用に必要な書類の提出

5 試験の概要

### 必要な手続き

- ① 「実施要項」「エントリーシート」をダウンロードする  
※実施要項公表：令和7年4月18日
- ② 「電子申請」で必要事項を入力する  
※電子申請期間：令和7年4月21日～5月13日  
※エントリーシートも電子データを電子申請システムに登録

(該当者のみ)

- ③ 「加点申請書」等をダウンロードし、作成する  
※加点申請書、特別選考関係書類は  
**郵送(簡易書留)で提出(5月16日消印有効)**

5 試験の概要

### 必要な手続き

詳細は山形県HPをこまめにチェック！

ホームページの確認が抜け落ちそうで心配……

教員採用X



山形県HP  
(教員採用)





県HPの更新  
↓  
Xで  
必ずポストします！

5 試験の概要

### ダウンロードが必要な書類

対象者	ダウンロードが必要な書類	提出方法
全員(3特A受験者を除く)	エントリーシート	電子申請システムに 電子データを登録
講師等特選受験者	職歴申告書	郵送 (簡易書留)
現職教員特選受験者	在職証明書★ 勤務状況調書(所属長作成)	
元職教員特選受験者	職歴証明書★	
スポーツ特選受験者	スポーツ特別選考調書	
大学推薦特選受験者	推薦書☆	
加点申請者	加点申請書	
加点申請者 <small>(司書教諭資格取得見込の者)</small>	司書教諭講習修了証書取得見込証明書☆	

★:採用された自治体の教育委員会が作成 ☆:大学が作成

5 試験の概要

### 一次試験 令和7年度実施日:令和7年7月12日(土)

① 会場

- 山形中央高校 (各校種等の「保健体育」、養護教諭、3特A)
- 山形北高校 (各校種等の「音楽」)
- 山形工業高校 (上記以外)
- 明治学院大学(東京会場) (出願可能な校種教科科目は要項で確認)

② 日程

- 午前  
「教職教養・一般教養(小論文)」 → 「教科・科目」
- 午後  
「実技」 ※実技のない方は午前で終了

5 試験の概要

### 二次試験 令和7年度実施日 令和7年9月2日(火)～9月4日(木)

① 会場

- 山形県教育センター

② 日程

- 3日間のうち、指定された半日
- 「個人面接1・2」\* 「作文」「適性検査」 \* 場面指導等を含む
- 小学校と特支小学部の「実技」は、別の日に実施

小・特小の場合	9月2日(火)	9月3日(水)	9月4日(木)
パターンA	作文・面接・適性 (半日)	実技	-
パターンB	-	実技	作文・面接・適性 (半日)

5 試験の概要

### 6 電子申請の手順



電子申請で作成する志願書・受験票

※昨年度の志願書

6 電子申請の手順

### 電子申請について

1. まずは、「電子申請マニュアル」を準備しましょう！ HPからダウンロード。

2. 電子申請を始める前に、準備しておくといもの

① 顔写真の電子データ（全員）

- ・スマホで撮ったものでも使えます。
- ・コンビニ前に設置されている証明写真機でも、電子データをアプリに保存できる。
- ・街の写真屋さんでも、「電子データください」と伝えればOK！

【注意】  
写真は縦長のものを準備する。  
一般的な証明写真のサイズ比  
(縦4 cm、横3 cm) などがベスト

文字の濃さや太さに注意して！

② 入力済みのエントリーシート(3特A志願者以外の全員)

- ・Wordで作成したものをPDFに変換してアップする！
- ・「手書きが良い」という方は、書いたものをPDFなどにすればOK！

6 電子申請の手順

### 電子申請について

3. 「やまがたe申請」のページを開く  
(例)・要項の二次元コードやURLから開く  
(例)・教員採用試験のホームページのリンクから開く  
(例)・検索ページに「やまがたe申請」と入力し検索する。

4. やまがたe申請の画面において、「採用試験」等のキーワードで検索して、出願ページにアクセスする。

6 電子申請の手順

電子申請について

5. 必要事項を入力していく

- ①「利用者登録せずに申し込む」  
もしくは
- ②「利用者登録」

※どちらでも出願可能。  
※IDやパスワードは必ず控えてください。



6 電子申請の手順

電子申請の手順

—入力全般にわたる注意—  
アルファベット や 数字 は全て  
「半角入力」

**申請者氏名 必須**

申請者の氏名を入力してください。  
(特殊な文字を使用する場合は、もっとも近い文字を入力し、一番下の「備考」)

氏:  名:

**フリガナ(氏) 必須**

フリガナ(氏)を入力してください。(半角カタカナのみ)

**フリガナ(名) 必須**

フリガナ(名)を入力してください。(半角カタカナのみ)

6 電子申請の手順

電子申請の手順

まずは、大学3年次特別選考Aに出願するかどうかを選択してください。  
※この結果によって、以降表示されるものが変わります。

**大学3年次特別選考Aへの出願選択 必須**

まず初めに、大学3年次特別選考Aに出願するかどうかを選択してください。

「大学3年次特別選考A」に出願します

「大学3年次特別選考A」以外に出願します

6 電子申請の手順

電子申請の手順

志願する校種等、教科・科目、  
選考区分を選択

↓

試験会場を選択

※校種等、選考区分に合わせて表示  
※「山形工業高等学校」と「東京会場」  
の選択ができる場合は、選択する。  
(出願後変更できません)

**志願校種等 必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

該当する志願校種等(第一志望)を選択してください。

--選択してください--

**選考区分2を選択してください。 必須** 選択肢の結果によって入

志願する選考区分を1つ選択してください。

--選択してください--

**試験会場を選択してください。 必須** 選択肢の結果によって入力条件が

特定の校種、教科・科目へ出願した方は、試験会場について「山形工業高等学校」か「東京会場」  
い。  
(出願後の変更はできません)

--選択してください--

6 電子申請の手順

### 電子申請の手順

#### ○昨年度の受験番号について

以下の該当者は、昨年度の受験番号  
を入力

- ・前年度二次Bランク特別選考
- ・大学3年次特別選考B
- ・大学推薦特別選考で昨年度「3特A」  
に合格したことによる加点申請

昨年度出願時の受験番号を入力してください。 **必須** 選択肢の結果によ

昨年度受験した際の受験番号を入力してください。

昨年度受験した時の受験番号(半角アルファベット1文字+半角数字4桁)

6 電子申請の手順

### 電子申請の手順

#### ○実技の選択について

- ・各校種の「保健体育」
  - ・小学校
  - ・特別支援学校小学部
- は選考区分によって実技の選  
択があります。

※小学校英語は必ず「英語」  
になります。

中・特中・高の体育実技選択1(領域) **必須** 選択肢の結果によ

中・特中・高の体育実技選択1(領域)

--選択してください--

中・特中・高の体育実技選択2(領域) **必須** 選択肢の結果によ

中・特中・高の体育実技選択2(領域)を一つ選択してください。なお、選択1と同

--選択してください--

小学校・特支小学部の二次試験実技を選択してください。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

二次試験における実技試験の教科をひとつ選択してください。(小学校又は特支小学部志願者)

--選択してください--

6 電子申請の手順

### 電子申請の手順

#### ○併願出願について

- ・併願出願可能な校種・教科等の志願者は、第2志望を選ぶ。  
(※**希望しない場合はなし**を選択)

併願出願を選択してください。 **必須** 選択肢の結果によ

第2志望について回答してください。

--選択してください--

6 電子申請の手順

### 電子申請の手順

#### ○加点申請について

加点における注意点

- ① 加点は「申請」  
※資格・免許等があっても自動的に加点はされません。
- ② チェックを入れただけではダメ  
→ **別途郵送による書類の提出が必要**
- ③ **第2志望**がある場合は、**特に注意**。  
※第1志望で該当しなくても、第2志望で該当する場合も。

加点申請の有無 選択肢の結果によって入力条件が変わります

加点申請がある場合はチェックを入れてください。

有

第2志望における加点申請の有無 選択肢の結果によって入力条件

第2志望における加点申請がある場合はチェックを入れてください。

有

6 電子申請の手順

### 電子申請の手順

○ 最終学歴(学校名、学部名などについて)

- すべての学校を完全に網羅できない  
→該当する学校名が無い場合、「その他」を選択
- その後、正式名称を入力 **年月日は半角数字**で入力

**最終学歴 (学校名) 必須**

最終学歴(学校名)を選択してください。  
 ・選択肢にない場合は「その他大学」「その他短大」「その他高校」を選択してください。  
 ・大学入学資格検定の合格者は「大検」、高等学校卒業程度認定試験の合格者は「高卒認定」をそれぞれ選択し

(全検索を行う場合は、条件を空にしてください。)

6 電子申請の手順

### 電子申請の手順

○ 職歴

- 職歴欄(10個)に入力しきれない時  
→「職歴の続きがある」にチェック  
職歴を**参考様式**で作成し、追加添付する。

※職に就いていない期間が1か月を超える場合は「在家庭」等と記入。  
1か月に満たない場合は記入不要。

例 平成30年3月30日までの講師で任用され、  
平成30年4月1日から再び講師で任用された。  
→1日だけ空白がある場合などは、記入不要。

**職歴1の始期**

職歴1の始期を入力してください。  
職に就いていない期間が1か月を超える場合は「在家庭」等と入力してください。

年 月 日

**職歴1の終期**

職歴1の終期を入力してください。

年 月 日

**職歴1の事業所名・職名**

職歴1の事業所名・職名を入力してください。  
例1: ○○株式会社(正社員)  
例2: ○○県○○市○○小学校(常勤講師)

**職歴の続き**

入力しきれない職歴がある場合はチェックを入れてください。

職歴の続きがある

6 電子申請の手順

### 電子申請の手順

○顔写真の登録

- ファイル名は「**氏名+生年月日(西暦)8桁**」  
例「出羽雪若丸20030512」  
※姓の間や生年月日との間にスペースは不要。  
※写真は**縦長**の写真を準備。

**顔写真の登録 必須**

顔写真の電子データを添付してください。(png, jpeg, jpgのみ)

ファイル名は「氏名+生年月日8桁」としてください。  
例: 出羽雪若丸20030512.jpg

写真データのファイル形式はこの3つのみ可になっている。

○エントリーシートの登録

- ファイル名は「**ES+氏名+生年月日(西暦)8桁**」  
例「ES出羽雪若丸20010512」

Wordの様式やフォントサイズは変更しないで作成し、完成したらPDFに変換すること。  
(A4片面1枚に収まるように作成) PDF, JPG, JPEG, PNGであれば登録可

6 電子申請の手順

### 電子申請の手順

- 全ての入力が終了したら「確認へ進む」
- PDFが出力できる。  
→ 必ず出力して確認してください。  
→ 確認後「申込む」を押す。

申込完了

R5教員選考試験志願書作成 (test07) の手続きの申込を受理しました。

下記の整理番号 とパスワード を記載したメールを送信しました。

メールアドレスが誤っていたり、フィルタ等を設定されている場合、メールが届かない可能性があります。

整理番号	308703231824	※昨年度のもの
パスワード	2Cm0CH8R6	

「整理番号」と「パスワード」は、登録されたメールアドレスへ送付されます。  
受験票をダウンロード(印刷)する際に必要。  
紛失しないように管理してください。

6 電子申請の手順

→ もしも入力完了後に誤りに気づいたら…

1	「やまがたe申請」トップページから「申込内容照会」をクリックしてください。 整理番号とパスワードが求められますので、「申込完了通知メール」に記載の整理番号とパスワードを入力してください。	
2	下の方に右のようなボタンがあります。「修正する」を押して、必要に応じて修正を行ってください。 修正した場合は、教職員課 採用試験担当へ電話連絡をお願いします。	

「やまがたe申請」トップページから「申込内容照会」をクリック。

→案内に従って修正する。(整理番号とパスワードが必要)

**入力完了後に訂正した場合は必ず教職員課に電話にて連絡してください。**

6 電子申請の手順

## 7 よくある質問



豚肉・味噌味



牛肉・しょう油味(かくし味に味噌)



牛肉・しょう油味



牛肉・しょう油味

### 採用延期制度

- 合格後、期日までに**採用延期願**を提出すれば、合格の権利をもったままで大学院へ進学、または大学院での修学を継続できる
- 大学院在学中に、**合格した校種等の専修免許状を取得**すること
- 以下の条件(どちらか)にあてはまっていればよい

<条件>

1. 教職大学院、専修免許状の取得可能な大学院または修士号取得可能な海外の大学院に進学予定の合格者 → 2年延期
2. 大学院修士課程\*1年次に在学中の合格者 → 1年延期

※ 延期期間終了までに専修免許状が取得できない → 採用無効

7 よくある質問

### 出願についてのQ&A

Q: 小学校の実技試験は、**音楽と英語**のどちらを選択した方が有利ですか？  
A: どちらを選択しても、有利不利はありません。  
自分の力をより発揮できる方を選択してください。

Q: 出願時に選択した実技試験(校種等)を、**後から変更**することはできますか？  
A: できません。出願前によく検討して選択してください。

Q: **出願後**に英語資格の結果が届く場合は、加点申請を行うことはできますか？  
A: できません。出願時点で英語資格の証明書の写しの提出が必要です。

Q: 司書教諭講習の単位を年度内に取り終える予定です。加点申請を行うことはできますか？  
A: **できます**。取得見込証明書を大学から作成していただき提出する必要があります。

7 よくある質問

## 出願についてのQ&amp;A

Q: 大学の通信課程で特別支援学校教諭の免許状を取得しようとしています。大学からは「**免許状取得見込証明書は出せない**」と言われましたが、加点申請はできますか？

A: (残念ですが) **できません**。

Q: 小学校の免許を所有しており、現在、大学の通信課程で特別支援学校教諭の免許状を取得しようとしています。**特支小学校小学部を志願**することはできますか？

A: **できます**。ただし、合格後、**免許状が取得できない場合は採用できません**ので御注意下さい。

Q: 前年度「小学校」で受験し、二次で不合格となりました。今年度は「**前年度二次Bランク特選**」で受験しようと考えていますが、「**特支小学部**」を**併願**することはできますか？

A: (残念ですが) **できません**。前年度特選は、**前年度と同じ校種を受験する場合に限り有効**です。

7 よくある質問

## 出願についてのQ&amp;A

Q: 大学3年次特別選考Aで不合格となり、4年次に一般受験する場合、**合否に影響**はありますか？(大学3年次特別選考不合格が不利になることはある？)

A: 大学3年次特別選考の不合格が、4年次の受験で不利になることはありません。

Q: R7採用において3特Aで小学校に出願し合格しましたが、その後校種の希望が変わり、**中学校への出願を希望した場合、R8採用で3特Bで出願**できますか。また、「**教職教養・一般教養の免除**」は有効ですか？

A: この場合は、4年次に一般選考や大学推薦特別選考で中学校を受験していただくこととなります。3特Bとして中学校を受験し「**教職教養・一般教養の免除**」を受けることはできません。

Q: R8採用において、小学校での出願を希望して3特Aで出願しました。その後**中学校への出願を希望した場合、R9採用で「教職教養・一般教養の免除」は有効**ですか？

A: **有効です**。R8採用より3年次特別選考Aの出願校種、教科・科目の制限はなくなりました。よって、R9採用の4年次に希望する校種、教科・科目へ出願できます。ただし、募集のある教科・科目に限ります。

7 よくある質問

## HPは、更新されますのでチェックを！

「山形県」→「資格・試験・採用」→「山形県公立学校教員の採用について」

いつでも、何でも**相談**してください！！

山形県教育局教職員課(県庁13階)

教員採用試験担当(働き方改革推進)	023-630-3406
小学校・中学校・特別支援学校	023-630-2864
高等学校	023-630-2863

臨時教員(講師等)は常に募集中！！

365日**常に募集**しており、**随時任用**(採用)しています  
**登録票(履歴書)**を提出した方と相談して、任用する学校が決まります  
 フルタイムから数時間、一年間から年間数日と様々な任用があります

「仮登録」始めました！

「登録票」を作成して登録する前に、少しでも不安を解消できればと仮登録の申請ができるようになりました。詳細はHPからどうぞ！ <https://www.pref.yamagata.jp/700026/bunkyo/kyoiku/karitouroku.html>

最後にお知らせです